

## 第5期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	平成25年度 第4回
開催日	平成25年8月21日（水）四谷特別出張所会議室 午後2時～3時30分		
出席者	区民	役員5名	職員 3名
主な議題	1, 各分科会報告・連絡について		
	2, 地区協議会連絡会、他関連会議について		
	3, 地区協議会連絡会(区内10所協議会連絡会)について		
	4, その他		

### 1 各分科会報告・連絡について

	主な内容
第1分科会	<p>○「四谷を識る勉強会」についての進捗状況（一部再掲） 前半は、歴史博物館学芸員、文学座職員による講座、後半には、四谷に関する文学について意見交換を行う</p> <p>○町が望む道路の在り方について意見交換を行っている。今後、所管課とも話し合い、意見をまとめて役員会に提出後、地区協議会として新宿区に提言書を提出できるよう準備を進めていく。</p>
四谷お宝さがし実行委員会	○実行委員企画仮称「四谷のお宝」学校編進捗状況 学校が夏期休暇中につき、前回より進展なし。
観光まちづくり実行委員会	○10月12日開催予定（内藤新宿）のまち歩きについて 参加者募集周知が広報しんじゅく9月15号に掲載予定
第2分科会	<p>○なんげんトープ夏の観察会について(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月8日に地域参加者約20名（委員含まず）で鳥、植物等の観察を行った。</li> <li>・プロのカメラマンがボランティアで当日の様子を撮影してくださったので、委員からはパネル展示も検討したいと意見が出た。</li> </ul> <p>○コミュニティガバナンス研究会の研究報告と意見交換について(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年の成果をまとめた報告書について説明いただき意見交換を行った。研究会では、あるべき姿のような答えを用意しており、それを念頭において調査し報告書を作成しているような点について、委員は違和感を持ち、様々な意見が出た。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（主な意見）</p> <p>①協議会は地域団体の総合調整の場であり、（自治組織だから自治を担うような気負いではなく）自分たちがボランティア的な活動を推進することで、「自治」に近づくと考える。自分たちに自治組織として認めさせようという狙いはない。</p> <p>②行政とともに地域課題を考え、一緒に歩み、自らが参加して解決する意識が大切である。四谷ではどの分科会でも協議会委員自らが行政と共に地域課題を考え、伴に歩む意識で現在まで活動してきているはずである。</p>

	<p>③地域団体だけではなく、社会福祉協議会・高齢者総合相談センター等の組織も地域の課題をともに話し合える場としても協議会の存在意義があると思う。</p> <p>④四谷地区住民の2割にあたる、単身者の社会参加等も検討課題であり、行政任せにせず、地域も一緒に考えていければいいのではないかと</p> <p><b>【意見交換に対する役員会内質疑応答】</b></p> <p><b>(役員質問)</b> コミュニティガバナンス研究会は) 早稲田大学が関わる専門性のある研究会であるが、四谷地区協議会の情報を得ることだけでよいのか？</p> <p><b>(第2分科会リーダー回答)</b> 意見交換の中でも出たが、四谷地域のことだけで、新宿区の地区協議会全体を語るのは違うと伝えた。他所の事例を見聞できていない所が課題とも伝えた。</p> <p><b>(研究会の報告に対する役員感想)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容は第2分科会のみに関わるものでなく。他の分野にも影響するものと思う。他地区の状況も踏まえて偏らない研究をしていただきたい。</li> <li>・この報告内容は違和感が残る。地区協議会も地域差があるように、高齢者問題も同じように地域により課題も異なる。体系的な視野に基づき研究されていないよう感じる。</li> </ul> <p>◆事務局口頭による補足</p> <p>※第2分科会では「コミュニティガバナンス研究会は、新宿区社会福祉協議会より2年にわたり、助成金100万円が提供され、研究しているが、研究内容が伝わってこない」といった意見が出ていた。また、「2年にわたり第2分科会を傍聴しているので、研究報告をしていただきたい」との意見もあり、今回コミュニティガバナンス研究会より報告いただき委員との意見交換になった。委員からは「偏った地域のうまく進んでいる事例報告ではなく、高齢者見守りに関する課題と課題解決に何が必要なのか踏み込んで提示いただきたい」という声もありました。今年度も傍聴を継続希望されているが、傍聴だけではなく、協議会にメリットがあるご意見も伺いながら、協力体制を整えたいということで締めくくられた。</p> <p>※コミュニティガバナンス研究会の報告書は第2分科会・役員会で配布しました。報告書を希望する委員は事務局へお申し出ください。</p> <p>○体操教室進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏にもかかわらず、熱心にご参加いただいている。また、講座開催時に高齢者総合相談センター職員により「熱中症予防対策」についてお話をいただき、熱中症予防飲料の配布等のご協力いただいている。</li> </ul> <p>○四谷地区乳幼児支援機関関係者連絡会主催イベントの協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年通り、地区協議会も協働参加する。</li> </ul>
<p>第3分科会 8月休会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は9月25日に開始予定。四谷大通りのごみ回収変更において、すでに変更した地域の課題等を事前に集め、対応策を検討する予定。また、秋の花いっぱい運動等の活動について話し合う。</li> <li>・内藤とうがらしは9月20日をめぐりに、回収する予定。(四谷ひろば、第3分科会等)</li> </ul>

広報	<p>○「声」第9号について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分科会リーダーに第5期の抱負について、未提出役員は事務局へ今月中にご提出願いたい。</li> <li>・他、指定管理者制度についても取材等をすすめている。区の取組みの経緯と成果を前向きにお伝えしたいと考える。</li> </ul>
課題別 P T 防災・地域 安全	<p>○前期活動案「多様性のある視点で考える避難所運営等の情報を共有する場の提供」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前準備は整ったので当日を待つだけという状況。</li> </ul>

## 2 地区協議会連絡会について

(本年度開催日未決定につき連絡事項なし)

## 3 その他

### ○自治基本条例関連の情報について

特になし

区ではシンポジウムを今年度も予定しているとのこと。

### ○各会の会議のすすめ方について

※7月の会議内で発言されている内容と一部重複していますが継続して出されている意見を記載しています。

#### (主な意見)

- ・会議内では、個人的な見解による悪口等の発言は慎んでいただきたい。会の運営が停滞してしまう。そのような状況になった場合に、速やかに改善する方針である。
- ・地区協議会は発足以来、町会との連携を大切に活動してきた。地域団体と協調性を持って活動を推進していただきたい。
- ・行政に提言書を提出する際には、協議会の役割を認識していただき慎重にご討議いただきたい。
- ・外部で、会の承諾なしに、組織の一員として発言することを慎むよう繰り返し述べている。
- ・地域活動に慣れていない方が突然、協議会活動を始めるには、時間がかかると思う。地区協議会活動について理解を深めていただきたいと思う。
- ・「地域課題があるから、行政が解決しなさいよ。」ではなく、自分たちが活動を積み重ねて解決することも必要。それには活動に共鳴してくれる多くのボランティアの支援が必要である。その積み重ねが成果につながる。途中で挫折しないで継続することが大切だと思う。

### ○地域活動の人材について

#### (主な意見)

- ・地域活動を活発化させるためには、現状では人材が枯渇しているように思える。  
先日、四谷中学校で地域の方に先生をしていただいた。その方は会社を退職した男性の方で、退職後の時間をどのように過ごすか考えていたところ、当会の知り合いに誘われ地域活動を始めたとのことだった。
- ・会社組織で活躍された方が、地域で活躍できる場とコーディネーターが必要だと思う。新たな人材を発掘しないと地域活動が先細りすると思う。

・行政も地域の活性化を望むなら人材育成を課題として持っていただきたい。行政が考える人材育成システムでは地域で活動する人材育成につながっていないのではないかと。

(所長)・地域の需要に対して役割が担える次世代育成、マッチングについては大きな課題だと思う。

団塊の世代が町の中心核になれるような育成目的を明確にして推進することが必要でありあり課題であることは認識している。

・自由時間が制約されていない方に担い手になっていただきたい。

・地域活動には女性の参加が多いが、男性が少ないことも課題。

・「地域活動と潜在活動者のマッチング」「活動のきっかけづくり」「団塊の世代のコミュニケーション作り」がキーワードだと思う。

・各地域団体も現在のマンパワーだけでは、頭打ちと思える。

・活動は何年か重ねるとおぼろげにも形作られるが、マンパワーだけは進展しない。

・地域センターでは10年前に「人材活用」に取り組んでいた。

個人の持つ特技、能力を活用して地域活動に活用していただきたいと考えていた。それによりサークルができた例もある。現在はそのシステムが継続していないのが残念。

・地区協議会でも新たな人材発掘を欲すると思うようになったのは、活動の安定により期が熟したと考えてよいのではないかと。プラス思考として必要な場面になってきたのだと思う。

#### ○新宿区エコリーダー養成講座について（経緯説明）

環境情報センターが配布している養成講座の案内に「四谷地区協議会有志」が協力することが掲載されている。会の承認なしで、協議会名が標記され理由について、昨年度のエコリーダー養成講座を受講した委員（町会推薦により受講）に説明を求めた。

経緯説明「講座終了生とした次年度の養成講座を立案したが、自分に確認なく掲載された。」

→事務局より環境情報センターに確認後、次回役員会で検討することとした。

#### ○地区協議会パネル展示について（事務局より）

9月予定ご案内のとおり、区民センター1階にて展示中。

他地区の活動も展示されているので参考にご覧ください。

次回日程

◆ 9月24日（火）14：00～16：00（予定） 四谷特出会議室